

(計画・中間・最終)

豊浜中学校区 校番24 学校名 呉市立豊浜中学校

a 学校教育目標	貴 自ら考え主体的に学び表現する 児童生徒の育成 ～郷土に誇りを持ち、理想の実現をめざす～	b 経営理念 ミッション・ビジョン 〈ミッション〉(学校の使命) 小規模校としての地域・保護者からの要望に応えられる教育の実現 〈ビジョン〉(将来の学校像) 「夢」があり、「感動」があり、「笑顔」であふれる学校 ①基礎・基本を徹底し「主体的な学び」を育てる学校 ②一人一人が大切にされ、「活躍」の場がある学校 ③家庭や地域と連携し、みんなが「誇れる」学校
----------	---	---

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	貴 【現状(○成果●課題◇強み)】 ○少人数の利点を生かし、全ての子どもが「分かる・できる」ための工夫を行った。特に、「困り感」のある生徒への対策のある授業づくり、具体的には「特別支援教育の視点」を取り入れた授業改善に取り組んだことで「授業が分かる」と答えた生徒が増加するなど、一定の成果が見られた。 ○異学年交流や生徒会活動、学級活動で、生徒個々の活躍の場を意図的に設定し、達成感を味わわせるようにするよう取り組んできた結果、「学校生活で協働し達成感を感じた」と答えた生徒が100%になった。 ・「まず、授業で『ほめる』場をつくらう」を合い言葉に、「相互評価活動」の充実に向けた結果、自分には、よいところがあると答えた生徒の割合が約77%となり、年々少しずつが向上している。 ●「将来の夢や希望がある」に肯定的に答える生徒は73%であった。3年生で大きく急増する傾向にあり、1、2年生での学習の改善が必要である。 ◇少人数であるために、一人一人に丁寧な指導をしやすい。また、地域も協力的で地域の協力が得やすい。 【令和7年度の重点】 (1)防災教育の深化:「自分の命は自分で守る」力の育成 (2)授業改善の推進等:「子どもの主体的な学び」の実現 (3)個を大切にした支援の充実 “少人数の利点を生かした支援”
------------------------------	--

育成を目指す資質・能力	貴 「生きてはたらく知識・技能」「課題を解決し、発信する力」「主体的に学び、協働する力」
-------------	--

評価計画(中期経営目標を設定してから①・②・③年目)						自己評価					
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	g 指標 (効果を見とる目安)	h 目標値	上半期			下半期		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
*** 確かな学力	① 「主体的・対話的に深く学び、思いを分かりやすく表現できる」児童生徒を育成する。	主体的に学び、協働して学びを深めることができる生徒の育成	少人数の利点を生かし、全ての子どもが「分かる・できる」ための工夫や補充・課題をやりきらせる指導の充実	① 家庭学習を(60+10×学年)分以上行うと答えた生徒の割合 (現状値59%)	60%	50%	83%	B			
			① すべての教員が「共通」して取り組む授業の視点を明確化した授業改善の実施(『子どもの問い』を生かす、「聴く・関わる・振り返る」、「思考を促す発問」等)	① 授業がわかると答えた生徒の割合 (現状値91%)	90%	94%	104%	A			
			① ICT機器の効果的な活用(キュビナの活用含む)	60%(3教科) 実力試験の全国平均との差が前回より向上した生徒の割合が55%以上の教科の数 (現状値20%)	60%	60%	100%	A			
			① ICT機器の効果的な活用(キュビナの活用含む)	70%	56%	80%	B				
** 豊かな心・健やかな体	① 「広島県の15歳の生徒に身に付けさせたい力」が身についた生徒の育成	総合的な学習の時間の取組の充実(「自己表現」「職場体験」等)	① 将来の夢や目標をもっている生徒の割合 (現状値73%)	75%	75%	100%	A				
			① 「表現力」等を育成する取組の充実(一分間スピーチ、文化祭での発表等)	85%	100%	118%	A				
			① 自分にはよいところがあると答えた生徒の割合 (現状値77%)	78%	69%	88%	B				
			① 自分のよさは、まわりの人から認められていると答えた生徒の割合 (現状値68%)	69%	75%	109%	A				
* 信頼される学校	① 関係機関連携の充実 いじめや暴力行為等を許さない学校環境づくりの推進 児童と向き合う時間の確保	豊浜学寮、特別支援学校との連携を充実させる。 いじめ防止及びいじめの早期発見を目的とする生徒指導推進計画を作成し、計画どおり実施する。 校務支援システムを活用する等ICTを効果的に使うことで、業務の効率化を図る。	① 豊浜学寮月1回以上の連携、特別支援学校とは年1回以上の連携を行う。	100%	100%	100%	A				
			① いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うと答えた生徒の割合 (現状値94%)	90%	100%	111%	A				
			① 生徒と向き合う時間が確保できた教職員の割合 (現状値100%)	100%	92%	92%	B				
			① 体力テストの課題が伸びた生徒の割合 (現状値52%)	60%	-	-	-				

【k:評価】
 A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100
 C:60≦(もう少し)<80 D:(できていない)<60